

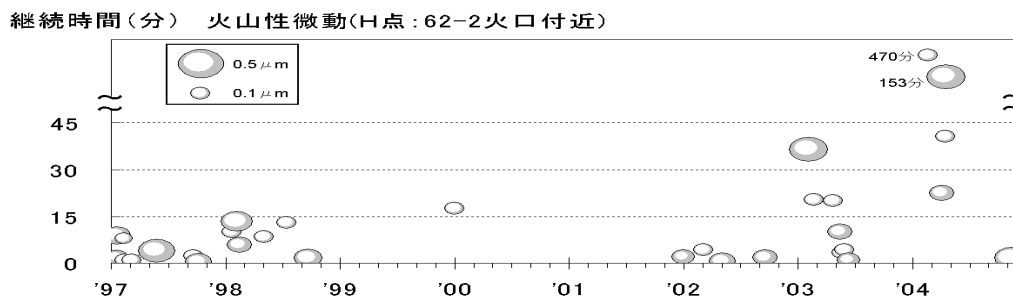
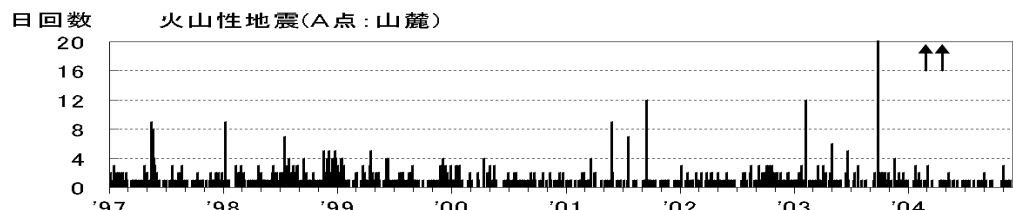
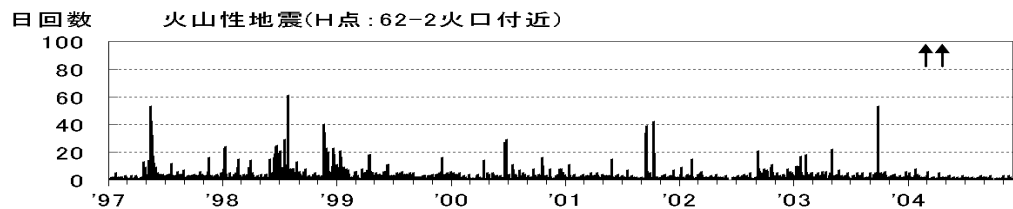
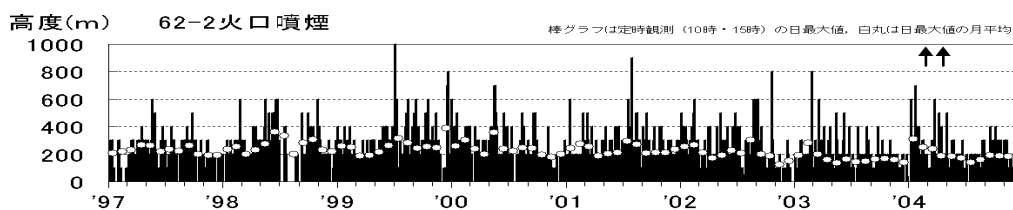
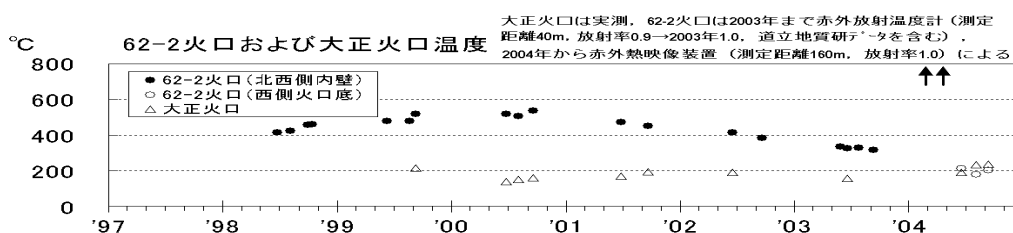
十勝岳

1 概況

62-2 火口は噴煙活動が活発で高温の状態が続いていると推定されます。17 日には振幅の小さな火山性微動が観測されました。このように火山活動は引き続きやや活発な状態です。今後も、2 月と 4 月に観測されたような火山灰混じりの有色噴煙が見られる可能性があります。

2 噴煙の状況

62-2 火口では活発な噴煙活動が続いています。噴煙は白色で高さは火口縁上おおむね 200 m で経過しました。17 日の微動発生時の噴煙の状況は悪天のため不明でしたが、天候回復後に確認したところ火口近傍の雪面に降灰は認められませんでした。

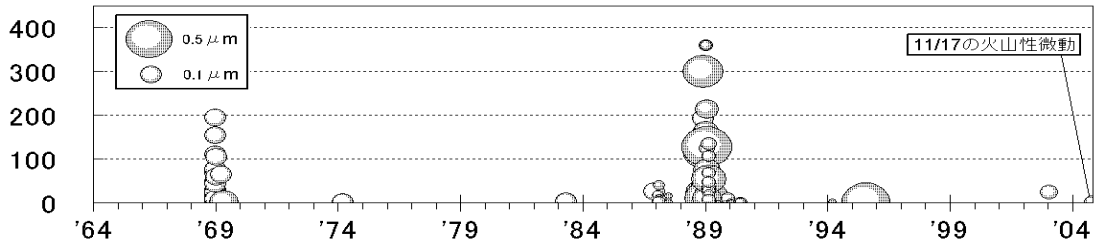


最近の火山活動経過図 (1997年1月1日~2004年11月30日) ↑印はごく小規模な噴火

3 地震および微動の発生状況

62-2 火口付近の地震計 (H点) で 17 日 23 時 56 分頃から約 2 分間、振幅の小さな火山性微動が観測されました。山麓の地震計 (A点) でも観測されましたが、下図のとおり 1988~89 年の噴火活動期に A 点で観測された多数の火山性微動と比べると非常に小さな規模であったことが分ります。微動の発生源は 62-2 火口周辺と推定され、山頂浅部における地下水や火山ガスが関係した小規模な現象と考えられます。なお、微動発生の前後で火山性地震の増加は見られませんでした。

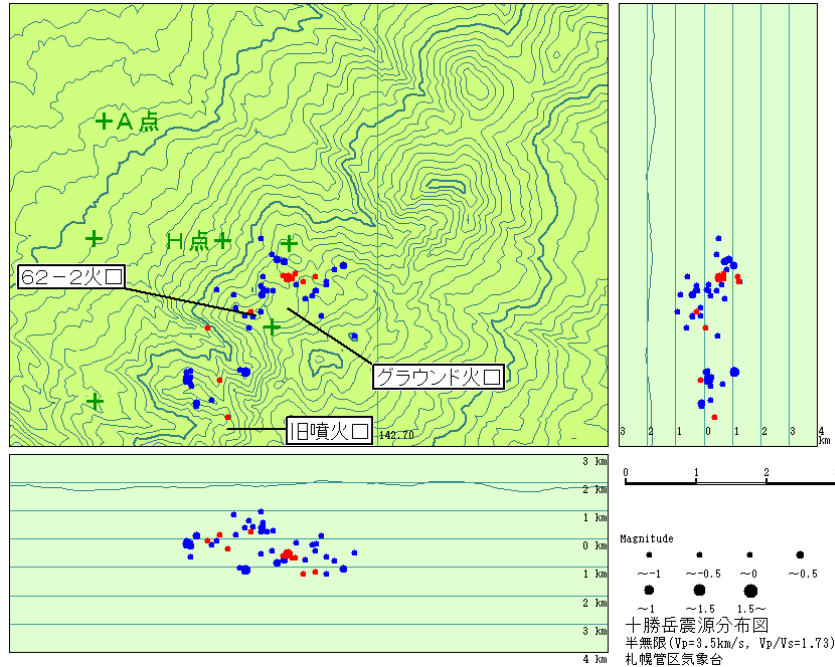
継続時間(分) 火山性微動



十勝岳 A 点における火山性微動経過図 (1964 年 4 月 16 日 ~ 2004 年 11 月 30 日)

地震・微動の月回数 (H 点: 火口付近の観測点 A 点: 山麓の観測点)

2003~2004 年	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
地震回数 H 点	36	41	17	30	23	26	12	13	19	16	11	20
地震回数 A 点	12	7	6	5	5	7	2	4	6	3	3	7
微動回数 H 点	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	1



十勝岳の震源分布図 (丸印: 震源、+ 印: 地震観測点)

赤丸は今期間 (2004 年 11 月 1 日 ~ 30 日) に求まった震源を示しています。

青丸は前期間までの 11 ヶ月間 (2003 年 12 月 1 日 ~ 2004 年 10 月 31 日) に求まった震源を示しています。

過去の震源分布は大きく分けてグラウンド火口周辺と三段山 ~ 旧噴火口周辺の浅部 (海拔付近) に集中しています。今期間の震源もこれらの領域内に分布しています。

4 地殻変動の状況

西麓での GPS 連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は認められません。

